

総合的な学習
「機木・柴田町アピールプロジェクト」

松田CD 今回の活動は、夏休みが始まりでいたね。ご相談の内容は、柴田町の良いところを発見し、それをCMにまめたいというお話でした。この活動を振り返り、先生方は、どんなことを感じていますか。

水戸先生 この活動は、子供たちに柴田町の良さを知ってほしいという願いもあり、どのように進めたらよいか、相談に乗っていたいただきました。子供たちが、知っているのは、機木のほんの一部分で、それを柴田町という見方はして、

いなかっと思っんですよね。そういう意味でも、機木以外の柴田町の素敵な所をたくさん見つけることができ、良かったと思います。
長谷川先生 私は、柴田町に転動してきて、今年で三年目になります。子供たちに町の良さを教えたいと思っいても、私自身も柴田町のことがよく分からず色々考える中で、今回このようなサポートをいただきました。私もおももとも良い勉強になりました。

松田CD 地域の方に活動に入っただくために、打ち合わせや準備も必要です、子供たちが迷惑を掛けたりしないかなどの不安もあり、先生方の負担になったりしませんか。

水戸先生 打ち合わせや準備が大変だったと感じたことはなかつたです。むしろ生涯学習課さんのサポートで、とても助かりました。こちらとしては、手探り状態で、不安なところもあつたので、豊川さんには、講話だけでなく、バスの見学にも協力していただき、とても充実した活動になりました。

長谷川先生 大変なことは、なかつたです。細かいところまで配慮してもらい、いろいろ提案もいただき、本当に有り難かつたです。

松田CD これからしばたっ子応援団を活用してみようかなと悩んでいる先生方がいるとしたら、どんなふうに応援したいですか。

水戸先生 そうですね、正直、今回お世話になるまでは、ハードルが高いというが、取っつ、

機会が広がるのかなと思います。学校の中だけでなく、地域という枠組みで色々なことに取っつめるのは、最大のメリットかと思っいます。

矢吹先生 古内先生の言う通りです。学校に閉鎖的に思われがちなので、地域の方が学校に来てくださるの、有り難いことです。少し前は、知らない人と話をしないようにという時代だったじゃないですか。だからこそ、こういった活動で、顔や名前を知るといっことは、次の一歩に繋がるのかなと思っいます。

しばたっ子応援団研修会に参加して

松田CD 今年度よりしばたっ子応援団研修会の参加対象者の幅を広げ、松岡先生にも参加いただきましたが、参加してみようと思っいましたか。

松岡先生 そうですね、初めて参加してみようと思っいて、けっこうたくさんの方が参加されているんだなと思っいました。ビックリしましたね。

松田CD 私は、この研修会で学んだことが、ストレートに子供たちの学習に繋がるものではないと思っうんです。まずは、先生とボランティアさんの信頼関係を高め、同じ思いで活動に入るために必要な研修会だと思っうんですが、先、

きくく感じがしていいですね。でも実際にお願いをしてみたら、そんなことは全くなく、気軽にお願いできる感じなのかなと思っいました。
長谷川先生 やってみようと思っことは、まず相談してみよう、これって大事なことですね。相談してみよう、活動が可能になることって多いです、それが何よりも、子供たちのためになると思っいます。

総合的な学習「竹ぼうき作り」

古内先生 矢吹先生 ×コーディネーター

松田CD 船迫中学校の特色ある活動のひとつに、竹ぼうき作りがあります。活動のねらいの中に、地域の現状を把握するということもあつたので、竹林整備事業についてのワークシートの提案もさせていただきました。また、竹ぼうきを使い、いつもお世話になっている地域の方へ、感謝の気持ちを込めて、地域清掃も行いました。先生方は、この活動を振り返り、どのように思っいますか。

矢吹先生 自分たちで竹を切り、ぼうきを作り、そして地域清掃を行うといっ活動が、一連の計画の中で進められるといっことは、本当にすこいことだと思っいます。子供たちからも、自分たちで作ったぼうきで、地域貢献ができて嬉しかったといっ声も聞かれました。(左ページ上部へ)

生はどのように感じましたか。

松岡先生 西住小学校でお世話になっているボランティアさんだけでなく、前任校の東船岡小学校の時に話になったボランティアさんとも交流ができて、とても良かったです。

松田CD 参加するにあたって、抵抗などはなかつたですか。
松岡先生 抵抗はなかつたですが、どんな人達が集まっって、どんなことをするのかなという興味はあつました。

松田CD 地域の方に、活動のお手伝いをしていただくことで、子供たちに何か変化を感じることはあつますか。

松岡先生 授業のサポートに入っただくと、地域の方が、子供たちの顔や名前を覚えてくださいます。常に子供たちを見ていてくださるの、登下校も安心です。地域の方が学校に来てくれると、子供たちも大喜びなんです。

松田CD 打ち合わせや準備などで先生方が負担を感じることはなかつたですか。

松岡先生 高学年の担任になると放課後の時間も少ないので、打ち合わせの調整が大変な場合もあるかもしれせんね。でも活動をする上で、打ち合わせは、とても大切ですし、活動は、子供たちにとっ新鮮なもので、必要なものだと思っいます。何よりも、地域の方が学校に入っただくことは、有り難いことだと思っいてます。

地域学校協働活動

— 担任の先生が感じていること —



今回、私たちコーディネーター(CD)は、「地域学校協働活動(しばたっ子応援団)」について、学級担任の先生方がどのように感じているのか、先生方の本音を聞いてきました。先生方には、取材内容は事前にお伝えしてなかったため、何を聞かれるのだからと不安だったようですが、いざ取材がスタートすると、「普段着ですみません。」という言いながら、笑顔で話してくださいました。先生方の声が、しばたっ子応援団に新しい風を吹かせてくれるような感じがします。ご協力いただきました先生方、ありがとうございました。

古内先生 この活動は、竹を伐採することから始まっているので、地域の現状への理解を深めること、また、買ったぼうきとは違い、大切に扱おうとする気持ちも育ち、それが率先して地域活動へ取り組む姿に繋がったと思っいます。

松田CD 船迫中学校は、特色ある活動が多く、地域の方を巻き込んだ活動に積極的だと思っています。その中にいる先生方として、地域の方が学校に入るメリットは、どのようなところにあると思っいますか。

古内先生 学校ってどうしても閉鎖的な空間になりがちで、外から学校に入りづらいのかなという感じがするんです。そう考えた時に、このような活動で、地域の方が学校に来てくださり、船迫中学校は、入りやすい学校なんだと思ってもらえたら、もっと色々な方と繋がれる、

西住小

松岡先生 × コーディネーター